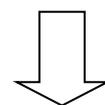


授業者	川角 幸久	日時・指導学級	10月30日(火) 4時間目 3年2組
教科	道徳	資料名	父の決意 (明るい人生2年生) D-(19) 生命の尊さ
【授業の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>「一度は死にたいと思っていた父が、なぜ生きようと思ったのか」を考えることで、かけがえのない命を大切に、どんな状況でも、精一杯生きていこうとする心情を養う。</li> </ul>			
【授業の工夫】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを深め、揺さぶり、生徒が発言したくなるような教師の切り返し。</li> <li>資料をもとに自己をみつめる時間の確保</li> </ul>			
【授業の様子・生徒の変容】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの場において、生徒同士の思いや考えをつなぎ、深めるための教師支援をしたことで、自分の命は自分にとってのかけがえのないものだ気づくだけでなく、他者にとってもかけがえのない命であることに気づくことができた。</li> <li>資料に出てくる登場人物と、自分の立場を重ねることで、個人の考えをさらに深めることができた。</li> </ul>			
【教師の振り返り】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことだけではなく、相手の意見を踏まえた話し合いをし、自分の言葉で語り、息の長い発言をする姿が見られた。</li> <li>意図的指名を繰り返したことで、教師と生徒と1対1の場面が多く生まれてしまい、他に広がらない場面が多く見られた。切り返しのタイミングが適切だったのかなど、今後の課題も残った。</li> </ul>			



振り返りの場で、「誰のが良かった」と感想を発表することは、発表者及びそれを聞いている生徒にとって「誰かの役に立った」と実感できた。



利他共生